



「TIBET TIBET」

#SHIMOKITAZAWA-TOKYO/ text:Nagano Hiroko

どこか懐かしい風景を感じさせる下北沢の一角にたたずむカフェ「TIBET TIBET」は、和のコンセプトを取り入れたアジアカフェだ。インドネシア製のテーブルやネパールで買い付けた細かな装飾の施されたインテリアに、日本で作られた白いオリジナルの椅子や渋い色合いの益子焼、カフェの中央に鎮座する巨大な仏像といった組み合わせが、通常のアジアンカ

フェの持つ印象とはひと味違う洗練された雰囲気を出している。

カフェをプロデュースした和気優氏は「この仏像を見つけるために、ネパールまで行きました。木彫りの像は世界でも少なくなっているので、彫師の多いカトマンズを歩き回り、帰国の2日前にようやくこの仏像と出会いました」と語る。仏像は店のオープンの3日前に到着。仏像を引き立たせるために、インテリアはシンプルにしたという。

ここでは食べ物から音楽にいたるまで、すべて仏教の哲学を活かしている。身体と精神の密接なかかわりを説く仏教では、

食は非常に重要な部分を占め、その土地で採れたものを自然のまま味わうことを重視する。しかし、ほかの土地で採れたものを別の場所に運んだ時点で、同じように料理しても味は変わってしまうため、素材を活かすための創作が必要になる。「たとえば、生簀は魚の泳ぐ海や川を再現したものです。しかし、結局は自然の魚とは異なるパーチャルなものなので、本物に近づけるために、創作が必要になるのです」

同氏はほかにも、東南アジアの季節感を感じさせるバラック小屋をイメージした「ロータスカフェ」、ケミカルでサイバーな中



カフェボールからアイデアが生まれる

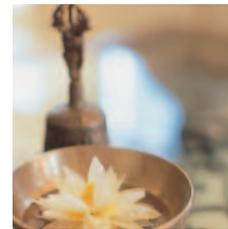
photo: Nakamura Tohru (mermaid)

国をテーマにした「上海DOLL」などをプロデュースしている。いずれのカフェも下北沢や三軒茶屋にオープンしたのは、小さな路地に入ったときの感覚や、個人商店の温かい雰囲気が気に入ったからだ。

これからも伝統文化と新しい感覚をミックスした空間をプロデュースしていきたいという同氏は「たとえば、古いお寺を改装して夜はダイナーにしたいですね。お寺は厳粛な場所と思われがちですが、遠い昔、武士たちが旅をするときは寺に泊まって宴会をするのが普通でしたから」とユニークな店作りを視野に入れる。



デザート「桃酔菓」(800円)。愛知県知多半島に伝わる伝統的な作り方を踏襲して作られている。



インドネシアから取り寄せたテーブル。ネパールの質の高い銀細工も販売している。



住所: 東京都世田谷区代沢5-29-9 ナイスビル2F
TEL: 03-5433-1565
営業時間: 19時~28時(月・土) / 17時~26時(日)



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp